

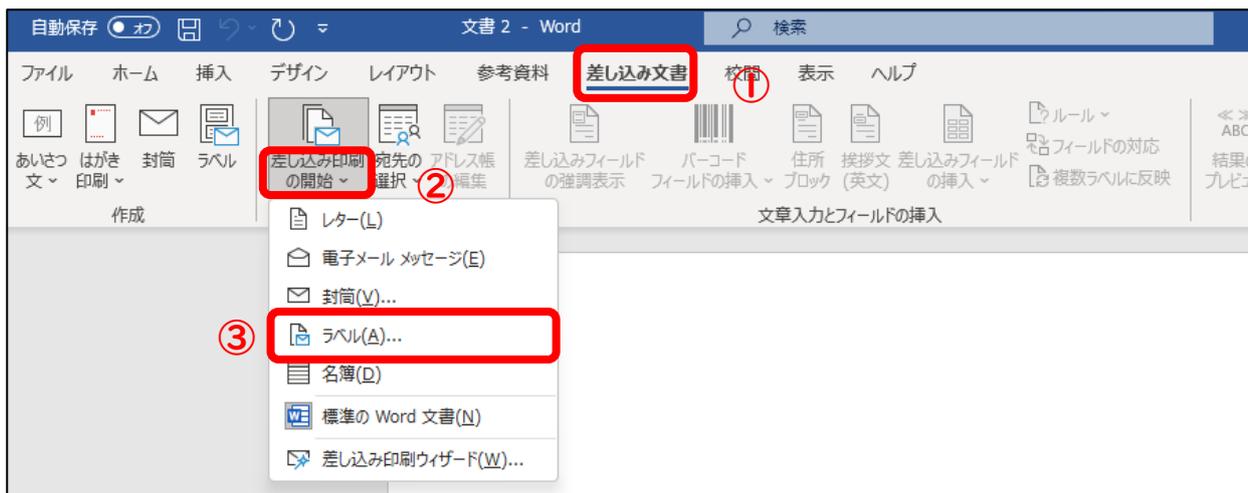
【「借りるッピ!」の QR コード差し込み印刷の方法】

●Word を起動

●差し込み印刷の開始

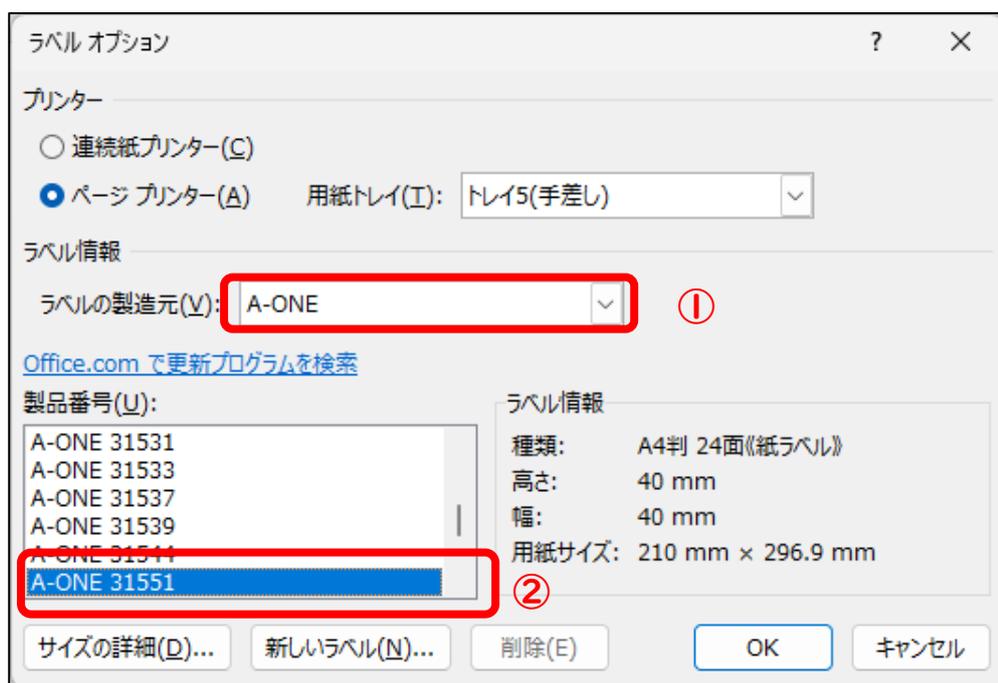
① [差し込み文書] タブをクリック

→ ② [差し込み印刷の開始] → ③ [ラベル] をクリック

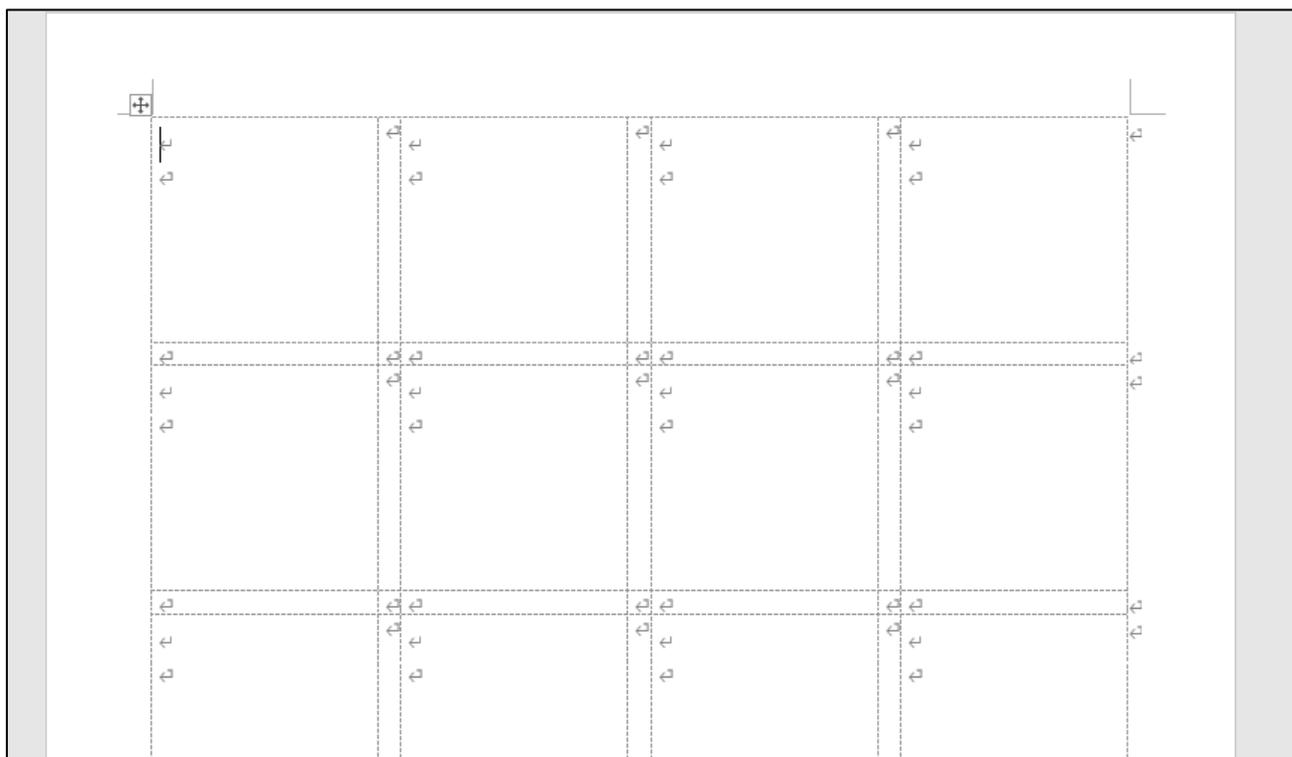


●ラベルの種類

①ラベルの製造元 [A-ONE] ②製品番号 [A-ONE 31551] を選択する。(他の部分はそのままでよい)



ラベルのカットラインに合わせて点線が表示される。



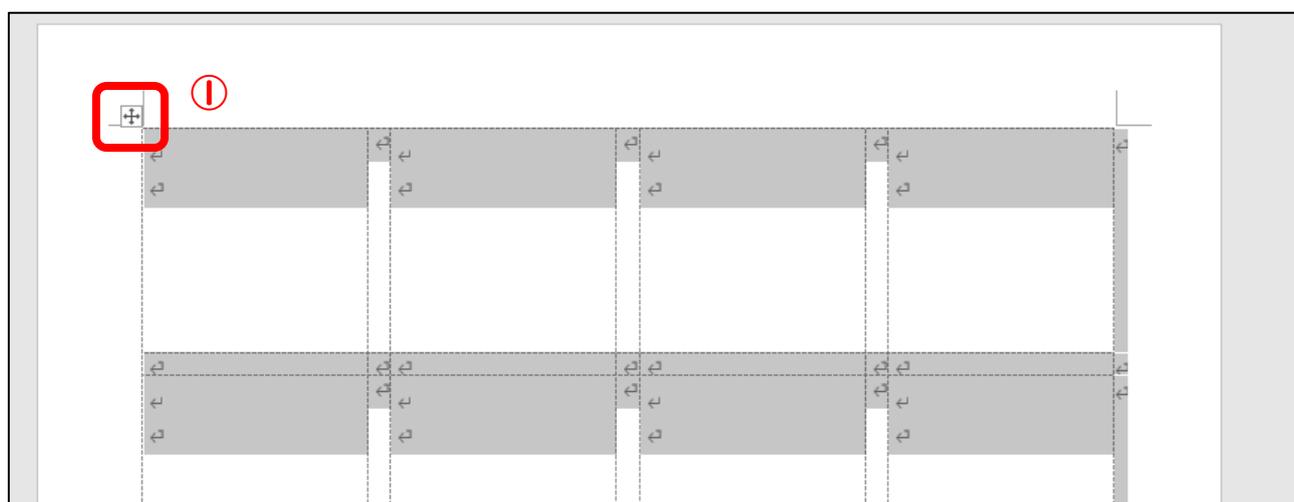
●ラベルのカットラインの罫線を引く

(A4 サイズの切り取り線なし | 枚シートを使う場合)

※水に濡れても大丈夫なタイプのシートを使うとよい

①画面左上の  をクリック

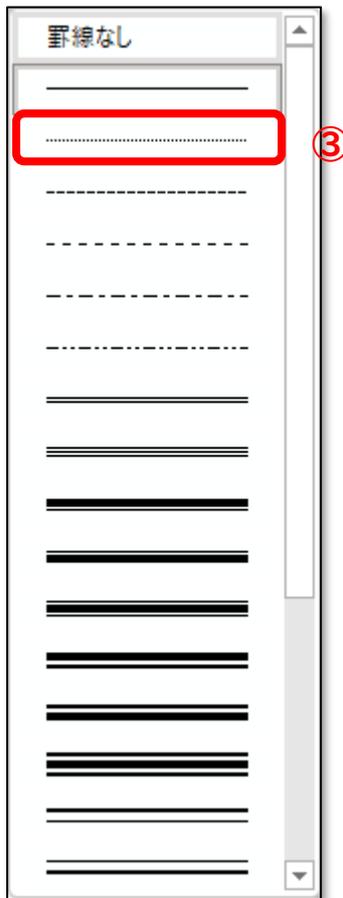
→表全体を選択している状態になる。



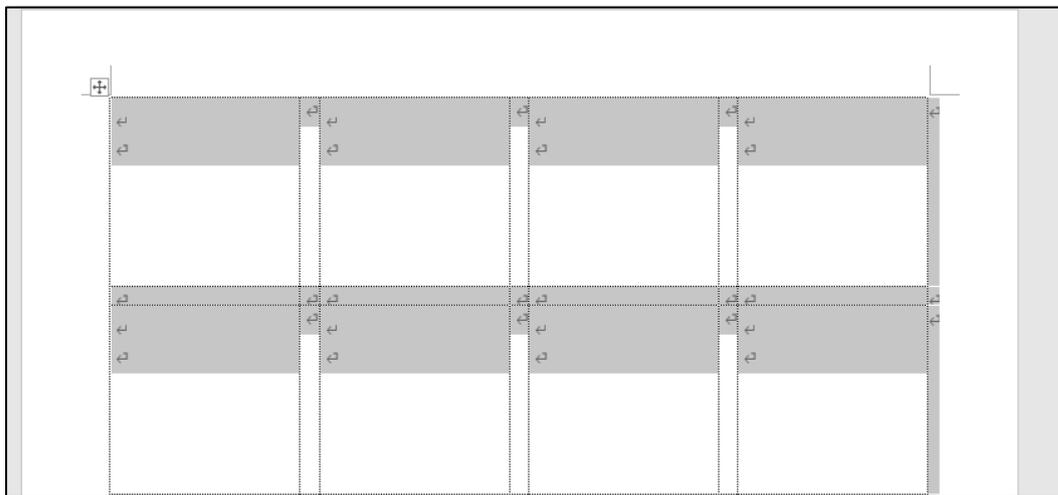
②表ツール[テーブルデザイン]タブをクリック



③罫線の[種類]を[点線]にする、④罫線を[格子]にする。



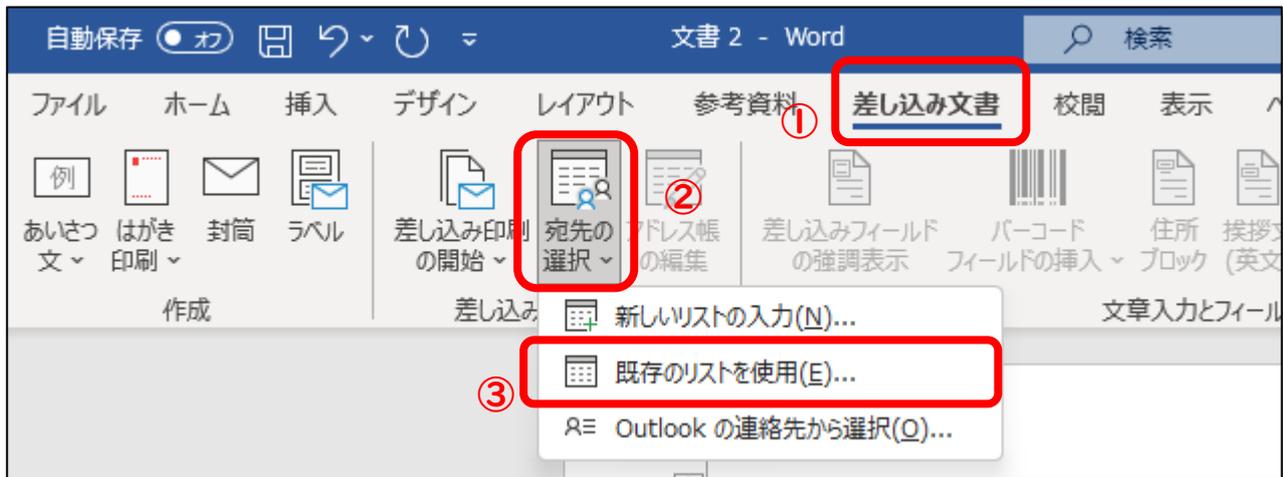
●罫線が格子状に引かれる。(シートを裁断するときに見やすい)



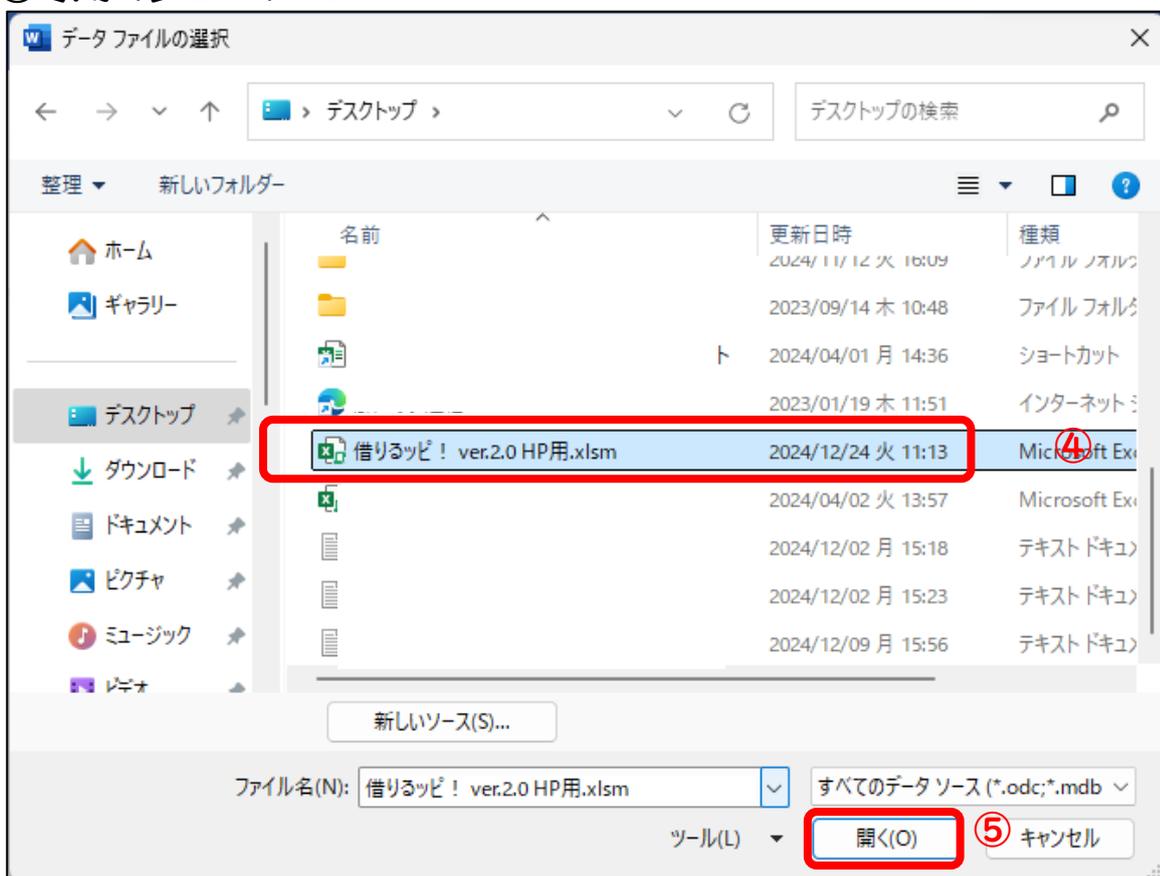
●宛先の選択

QRコードを作成するのに、必要なリストを読み込む作業をする。

- ① [差し込み文書] タブをクリック
- ② [宛先の選択] をクリック
- ③ [既存のリストを使用] をクリック



- ④ [借りるッピ! ver.2.0 HP用.xlsm] のファイルを選択する。
- ⑤ [開く] をクリック



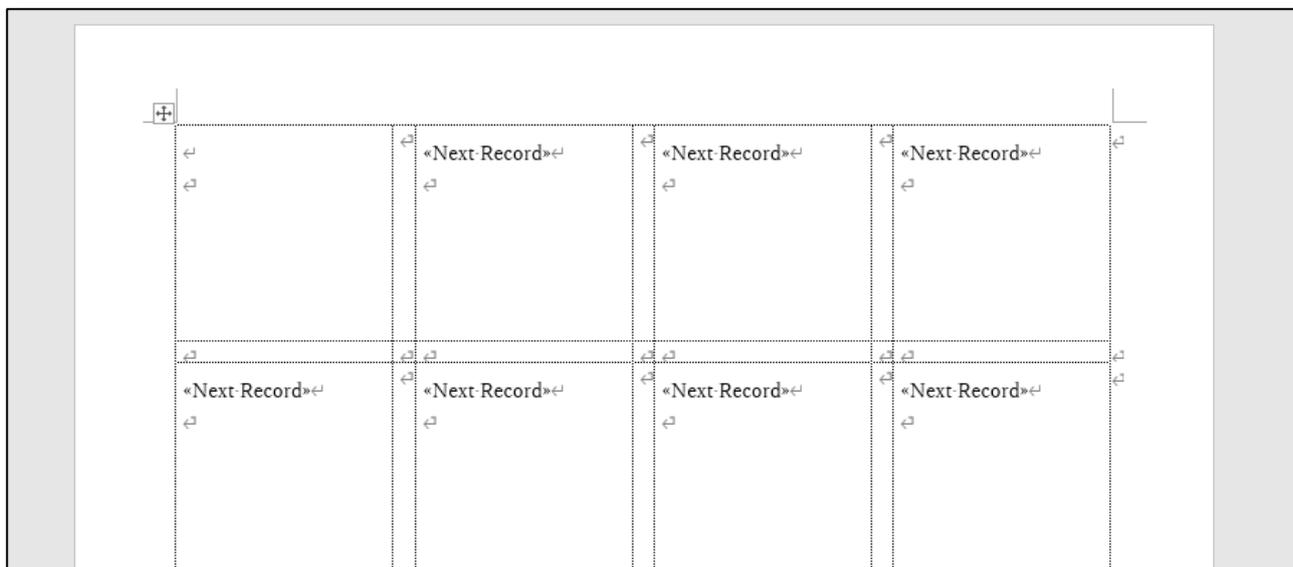
⑥ [テーブルの選択] をする画面になるので、[貸出物品 (マスター) \$] を選択する。

⑦ [OK] をクリック



⑧ [先頭行をタイトル行として使用する] はチェックしたままにしておく。

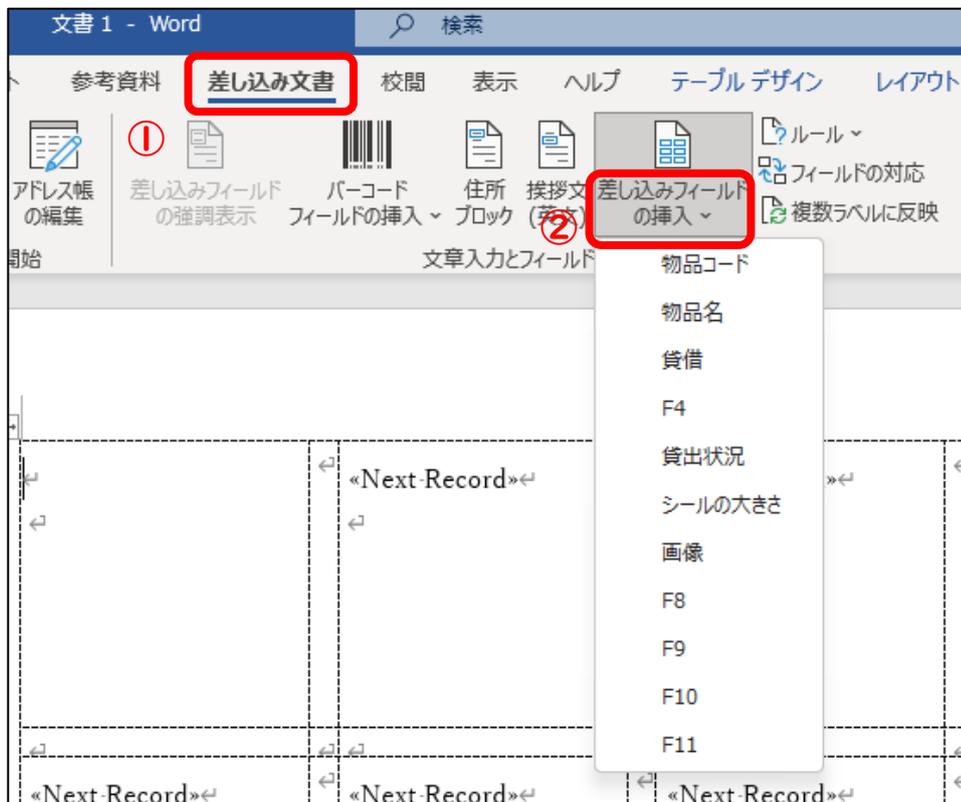
⑨ [Next Record] が自動で入力される。



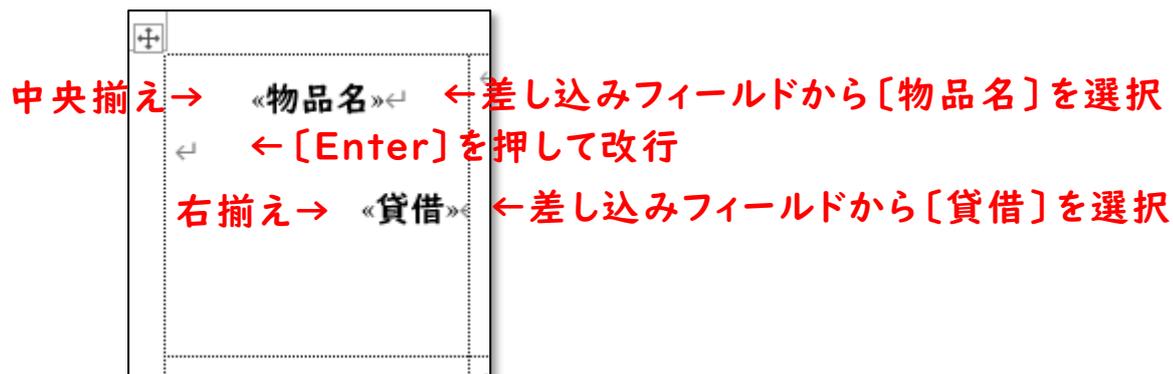
●差し込みフィールドの挿入

① [差し込み文書] タブをクリック

② [差し込みフィールドの挿入] をクリック



③ 図のようにフィールドを選択して、挿入



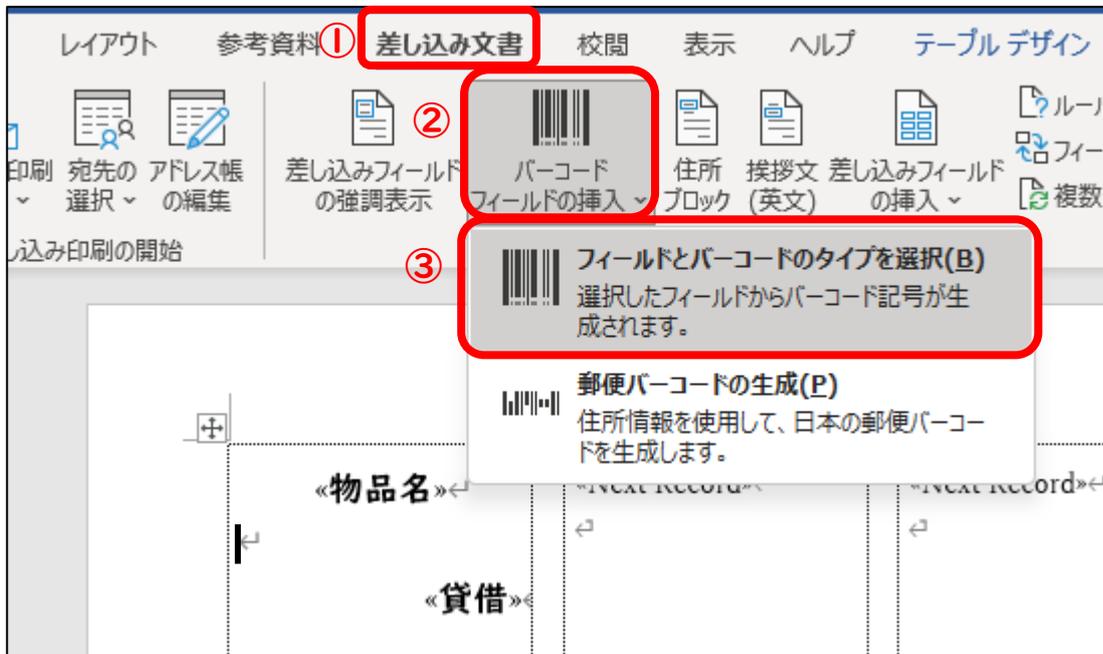
※フォントを見やすいものにあらかじめ変えておくとよい。

(例では、UD デジタル教科書体 NK-B を使用しています)

④ 上から2行目にカーソルを合わせておく。

●QRコードの挿入

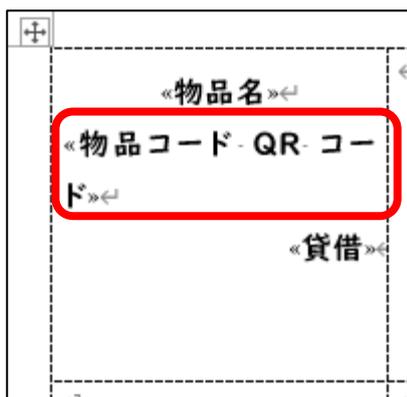
- ① [差し込み文書] タブをクリック
- ② [バーコードフィールドの挿入] をクリック
- ③ [フィールドとバーコードのタイプを選択] をクリック



- ④ [フィールド] は [物品コード] をクリック
- ⑤ [バーコードのタイプ] は [QRコード] をクリックして、
- ⑥ [OK] をクリック



⑦ [QRコード]が挿入された。



●編集内容をシート全体に反映させる

① [差し込み文書] タブをクリック

② [複数ラベルに反映] をクリック



③ [結果のプレビュー] をクリック



● 印刷用のシートを作成する

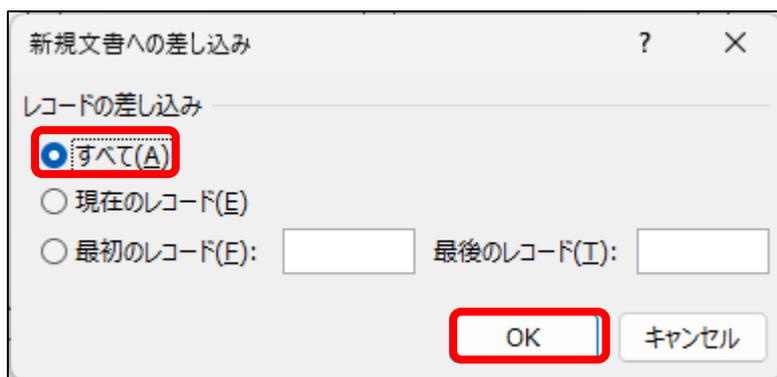
① [差し込み文書] タブをクリック

② [完了と差し込み] をクリック

③ [個々のドキュメントの編集] をクリック

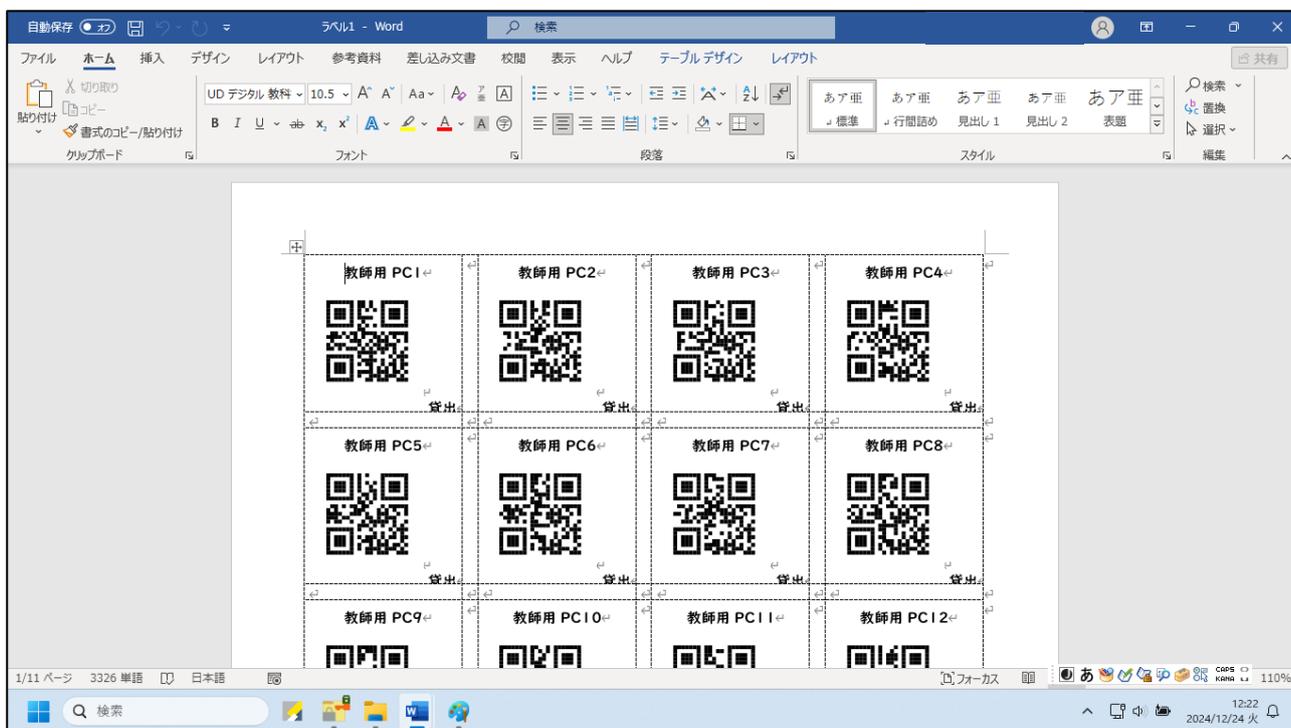


④ [すべて] を選択して、[OK] をクリック



⑤ [ラベル1] という別ファイルが開く。

※シートの色分けなど、細かい設定はこちらのファイルで行う。



●段落の設定をする

① [ctrl]+[A]で文書全体を選択する。



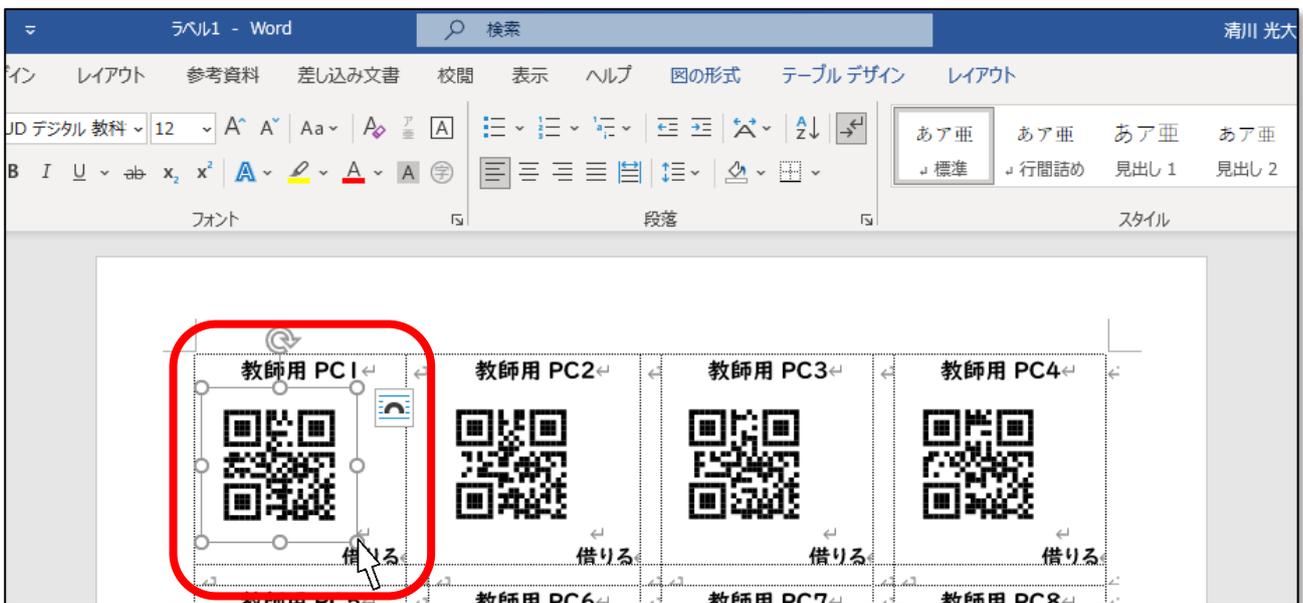
② [ホーム]タブをクリック

③ [段落]の右下の□をクリックして、ウインドウを表示させる。



●QRコードのサイズの調整

- ① QRコードが表示されている部分をクリックする。
- ② 四角の枠が表示される。
- ③ 右下の○にマウスのカーソルを合わせ、ドラッグし、右下の「借りる／返す」の全体が表示されるようにサイズを微調整する。



※ひとつずつ、同じサイズになるように微調整する。

(一度に複数の図は選択できない)

●[レーザーポインター]・[type-c 変換器]などサイズが小さいものの作り方

[ホーム]タブ

①フォントは9ポイント →

②左詰め  にする



●背景の塗りつぶし方

- ① ページ左上の  をクリックして、[1 ページ分] 選択する。
- ② [テーブルデザイン] タブを選択する。
- ③ [塗りつぶし] を選択して、
[借りる] → 赤系 [返す] → 青系 を塗る。



- ④ 各ページで①～③の操作を行い、必要に合わせて微調整する。

